

6 発達支援インスティテュート

大学と地域のプラットフォーム 発達支援インスティテュート

発達支援インスティテュートは、人間発達に関わる応用目的、実践的研究を鮮明にするために、大学と地域をつなぐプラットフォームとして設立されました。このインスティテュートは人間発達環境学研究科に付設されており、「ヒューマン・コミュニティ創成研究センター」「心理教育相談室」「社会貢献室」「サイエンスショップ」の四つの組織から成り立っています。

「心理教育相談室」は一般向けの心理相談業務を行い、合わせて臨床心理士の養成に関わるフィールドを提供しています。「社会貢献室」は、発達科学部および人間発達環境学研究科に所属する教員が行っているさまざまな社会貢献をまとめ、各種の公開講座を実施する等、大学と社会をつなぐ組織です。

「ヒューマン・コミュニティ創成研究センター」は、NPO、NGO、行政、企業、学校などと連携しつつ、実践的な人間発達研究を進めることを目的とした組織で、「ヘルスプロモーション」「子ども・家庭支援」「ボランティア社会・学習支援」「ジェンダー研究・学習支援」「障害共生支援」「労働・成人教育支援」の6つの部門といくつかのプロジェクト研究グループがあります。また、サテライト施設としての「のびやかスペース あーち」を運営しています。

当研究科には、上記「ヒューマン・コミュニティ創成研究センター」に属する6部門にかかわる教員が担当する「1年履修コース」が特別に設けられています。このコースは、部門に関連するフィールドで一定の社会的経験を積んだ社会人を対象としたもので、終了時に修士の学位が授与されます。院生は、このコースで、研究手法を学びながら、自らが経験してきた内容をまとめる形で修士論文またはリサーチペーパーを完成させることが求められます。修了生は、研究的視点をもって、再度現場に戻って活躍することが期待されていますが、終了後キャリアアップを実現している修了生も多くいます。

「サイエンスショップ」は、神戸大学学生および地域社会市民が科学に関わる課題や活動への取り組みの支援、学生に対しては、科学者に求められる創造的研究能力（課題発見、解決能力など）、コミュニケーション能力等の資質を高めるとともに、市民に対しては科学技術的課題に対するエンパワーメント、さらに地域の科学教育高度化を支援することを目的としています。

大学院人間発達環境学研究科博士課程前期課程

